

# 地域親になろう!!

コミュニティ・ペアレント



青少年がいきいきと  
生きていく力の形成のために



## 5つのスローガン

- 1.誰でも、どこかで、ささやかでも地域親（コミュニティ・ペアレント）になろう。
- 2.大人が支えていることを身近に感じてもらおう。
- 3.どの子も自分が受け入れられると実感できる小さな関わりを大切にしよう。
- 4.その子にあったものさしで、その子の存在を丸ごと受けとめよう。
- 5.任せて待つ力を大人は持とう。

# キーワードは「青少年の主体性」

『主体性』って何のこと?

自分で考え、行動し、その結果をきちんと自分自身で受けとめる力のこと、いわば  
「自分が自分の人生の主人公になる」ということです。



なぜ「青少年の主体性」がキーワードなの?

今の子どもたちに足りないといわれているね。君たちは、自分のことを自分で考えて決めたり、行動できるかい?



だって、お父さんやお母さんがなんでも決めてくれるし、やってくれるよ。楽でいいよね。

子どもたちのためによかれと思ってやっていたんだけれど。



- 自分で考えて、納得してなにかをやり遂げることは、自分らしく生きていくためにはとても大切なことだよ。
- 今の社会は、いろいろな情報があふれているし、これからは、自分の責任で選択しなければならないことがとても多くなるよ。
- 結局は自分が自分の人生の主人公なんだから、自分の人生を楽しく豊かにするのは自分にしかできないんだ。

でも、うまくいかなかったらどうしよう。  
失敗したら叱られるんじゃないかな。



失敗から学ぶこともたくさんあるんだよ。大人は、その失敗を責めないで、子どもたちの成長につながるように応援してあげなくちゃね。

いろいろな体験や活動をすることが、子どもたち自身の力になって行くんだよ。大人も、できるだけ子どもたちに任せるようにしてみよう。積み重ねが大事だから「子どもたちが何もできない」というのは、大人にも原因があるね。



## 青少年にとっての体験の意義

- 達成感や満足感、社会の役に立つことを実感することが自信や意欲の向上につながる。
- さまざまな人との関わりを通して社会人としての自覚と責任を獲得する。
- 日常で得られなくなったものを非日常体験から学ぶ。
- 自発的な力、主体性を育てる。

など

## 青少年の体験・地域活動を支えるために

### 第三の空間としての地域

- 学校とは違うものさしで子どもを評価する
- 世代を超えて親自身が活動を楽しむ
- 大人にはない子どもの知識や技術などを評価・支援する

### 地域に開かれた学校

- 青少年の地域活動の機会を支援する
- 教員の人脈や信頼関係を活用する
- 地域を信頼して任せる

大人同士ももっとコミュニケーションを取りましょう





## 地域にあるいろいろな青少年活動

- 子ども会、少年団体活動（ボーイスカウト・ガールスカウトなど）、スポーツ少年団。
- 高校生会、JRC（青少年赤十字）
- 太鼓、お囃子など祭りや伝統芸能の保存会
- ボランティア活動や地域イベントへの参画など

## 青少年が育つために大切にしたいこと

### 青少年には・・・

- ◆大人との出会い、ふれあいがあること
- ◆「職」や「技」との出会いがあること
- ◆身近にあこがれ・目標・モデルがあること
- ◆自己の可能性と出会うこと
- ◆楽しい対象を持つこと
- ◆自分を語れる場があること
- ◆任されること
- ◆自分に誇りを持つこと
- ◆自分たちが挑戦し創造する場面があること
- ◆乗り越えるハードルがあること

### 大人には・・・

- ◆小さなきっかけづくりを大切にすること
- ◆特技や職業の個性を活かすこと
- ◆青少年の気持ちをそのまま受け入れること
- ◆寝食を共にする関わりを持つこと
- ◆意見を尊重し任せること
- ◆一緒に楽しむこと
- ◆言葉より行動で示すこと
- ◆第二の親となること



**青少年を支援する  
地域親になろう**



## 青少年行政に求められること-地域活動を中心とした場合

### 青少年や地域が主体的に取り組む活動を支援する

- 青少年に関する情報の収集・提供
- 人材育成・発掘
- 活動の場の創出・提供
- ネットワークづくり
- 住民の活力を引き出す仕組みづくり など

**行政の主体性**



## 例えばこんな地域親

- ◆子どもたちの気持ちを聞くことがうまい聴き上手
- ◆特技を通して関わるスポーツ、芸術、マジック・手品、パソコン、発明の達人
- ◆バイクの乗り方、ルールと楽しさを伝えるハーレーおじさん
- ◆祭りの伝統を伝えるお祭り人間
- ◆勉強の遅れている子どものために関わる補習親
- ◆ゴミや環境問題、リサイクルと一緒に考える自然派人間
- ◆いのちと介護の大切さを伝える熟練のヘルパー
- ◆職業を通して関わる仕事親・商売親(できれば宿泊と小さな徒弟関係)
- ◆自らの夢を生き、輝いている地域親



「自分一人くらい…」とか「誰かがやれば…」と考えるのは  
自分だけではありません。

大きなことを一つするより、小さな関わりが子どもたちのそばに  
たくさんあることが大切です。

特別なことは必要ありません。自分にできることを通して  
子どもたちと関わってみましょう。

あなたなら、どんな地域親になれますか？



この報告書では、地域で活動している17の団体の活動紹介や青少年にとっての体験・  
ボランティア、地域活動を支える家族や学校などについて記載しています。  
全文はインターネットでも御覧になれますので、ぜひお読みになってください。

●茨城県知事公室女性青少年課ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/bugai/josei/young/s-singikai/singikaihoukokusho.htm>

皆さんの御意見もぜひお聞かせください。  
御意見、感想、お問い合わせは下記までお願ひします。

●茨城県知事公室女性青少年課 ☎310-8555 水戸市笠原町978-6

**TEL/029-301-2183 FAX/029-301-2189**

Eメールアドレス josei2@pref.ibaraki.jp